# 令和７年度　学校経営方針

下松市立中村小学校

## １　学校経営の基本方針

山口県教育委員会の教育目標『未来を拓(ひら)くたくましい「やまぐちっ子」の育成』と、下松教育の指針（教育目標）『心豊かに生きる力を育む』に基づき、その達成に向けて「３つの力（学ぶ力・創る力・生き抜く力）」と「３つの心（広い心・温かい心・燃える心）」に加え、「ふるさとを愛する心」を育成するために、地域の文化や伝統の継承を踏まえ、社会の多様な変容を視野に入れながら、地域の特色や児童の特性を生かした創意と活力に満ちた教育活動を推進していく。

## ２　教育目標

**学校教育目標**

ふるさとを愛し　豊かな心と夢をもつ　かしこくたくましい　中村っ子の育成

**めざす児童像**

○　自分で考え粘り強くやり抜く子
○　人との関わりを大切にし、感謝する子
○　健康や安全に留意し、活動できる子

**めざす学校像**

家庭・地域から信頼され、家庭・地域とともに、賢く、心身の健やかな子どもを育む活力ある学校

**本校教育の柱**

○　友達との学び合いを通して、一人ひとりの賢さを伸ばす　（知）
○　他者との関わり合いを通して、素直で思いやりのある心を育む　（徳）
○　健康・安全な環境づくりを通して、たくましい体を育む　（体）

## ３　本年度の重点

人間力の根幹である「自学・自立」と「思いやりの心」そして「地域愛」の育成を図る。

## ４　本年度チャレンジ目標【児童・保護者・地域・教職員】

４つの『あ』➢「あいさつ」「ありがとう」「あとかたづけ」「あんぜん」

## ５　本年度の努力点

### （１）家庭・地域との連携による信頼される学校づくりの推進（コミュニティ・スクールの充実）

○　コミュニティ・スクールの取組を通して、家庭・地域との連携・協働を充実させるとともに、地域を愛する児童の育成を図る。

➢　学校運営協議会での熟議、学校だより、学校ガードボランティア・見守り隊との連携、学習支援ボランティアの充実、地域行事への積極的な参加、学校評価の活用、小中連携カリキュラムの推進

### （２）確かな学力の定着と一人ひとりの夢の実現に向けたキャリア教育の推進

○　学習意欲を高め、学習規律の徹底を図るとともに、確かな学力を定着させるための授業改善を行う。また、生き方指導としてのキャリア教育の推進を図る。

➢　授業研究（教材開発）、学習・生活規律の徹底（下敷き、定規の使用等）、個別指導の充実、振り返りによる授業評価の実施・活用、学習支援ボランティアの活用、校内研修の充実、家庭学習（自主勉強）における家庭との連携

### （３）思いやりと郷土愛を育む道徳教育の充実

○　**思いやり**とふるさとを愛する心を育成するため、道徳の時間の充実を図るとともに家庭・地域の教育力を生かす。

➢　俳句の指導や稲刈り、しめ縄作り等の地域人材の有効活用、公民館行事や子供会活動、ゲストティーチャーによる支援、特別活動の充実、縦割り活動等

### （４）豊かな人権感覚を育む教育の推進

○　教職員自ら人権感覚を高めるとともに、教育活動全体を通した積極的な人権教育を推進する。

➢　礼儀・感謝を表現する実践の充実、挨拶・返事の徹底、適切な言葉遣い、コミュニケーション力（聞く・話す）の育成、人権に関する指導資料の開発

### （５）自立・共生を目指した社会性の育成

○　自立・共生の態度を育成するため、基本的生活習慣の定着と思いやりの心、規範意識等社会性の育成を図る。

➢　自主的なあいさつ・会釈、公私の区別、正しい言葉遣い（～です。～ます。）、時間厳守、靴そろえ、規律ある集団行動、善悪の判断力・行動力の育成

### （６）体力向上と危険回避能力の育成をめざした健康・安全教育の推進

○　体力や運動能力の向上を図るとともに、健康・安全管理を行い、命を大切にする教育を推進する。

➢　運動習慣の確立、メディアコントロールの取組、食育の推進、手洗い・歯磨きの徹底、避難訓練の充実、交通教室の実施、ＫＹＴの実践、学校保健安全委員会の展開

### （７）特別支援教育の視点を大切にした開発的な生徒指導の推進

○　児童一人ひとりのよりよい自己実現を図るため、特別支援教育の視点を大切にした開発的な生徒指導を推進するとともに、教育相談の充実を図る。

➢　児童理解・情報共有、児童・保護者を対象とした生活アンケートの実施と活用、月目標の達成、特別活動・ＡＦＰＹ等による集団・人間関係づくり、スクールカウンセラーによる相談支援、個別の教育支援計画の作成、教育相談の定期的な実施